



Australian Government



The Permanent Mission of Hungary
to the United Nations



GOVERNMENT OF THE
REPUBLIC OF INDONESIA



The Permanent Mission of
Japan to the United Nations



Permanent Mission of
the Republic of Korea
to the United Nations



2023 年 3 月 10 日

第 6 回 国連水と災害に関する特別会合

一水、災害リスク軽減に関する中間レビュー、気候変動プロセスの連携を目指して一

2023 年 3 月 21 日（火）於：国際連合本部

概要案

1. 開催趣旨

国連水と災害に関する特別会合は 2013 年以来隔年で開催されてきた。第 6 回会合となる今回は、「水、災害リスク軽減に関する中間レビュー、気候変動プロセスの連携を目指して」というテーマの下で 2023 年 3 月 21 日に開催し、その翌日から開催される国連 2023 水会議での議論や成果に対してインプットを行うとともに、水と災害や都市化、食料、気候変動下の環境問題といったその他の開発問題に取り組み、レジリエントで持続可能かつ包括的なコロナ後の社会の実現にむけた意識向上や行動の促進を図ることを目的とする。本会合ではまた、気候変動プロセス、水行動 10 年、災害リスク軽減の中間レビューを連結することに焦点を当てた議論を行う。

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大、気候変動と災害は各国における持続可能な開発に向けた取り組みを停滞させ、世界の隅々に至るまで大きな影響を与えた。またこれらによって、現在社会におけるリスクの性質に関する厳しい教訓も得られた。すなわち、私たちのグローバルな世界は非常に緊密に相互に関係しており、また等しく脆弱で、それが社会の健康、食料の安全保障、平和と安定などの面で深刻な影響を与えているということを教えてくれたのである。

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大から回復し、気候変動と災害下でも次世代の人々が生存しうる未来を保証するためには、持続可能でレジリエントかつ包括的な「質の高い社会」への変革が必要である。そのためには、依然として人々や社会、特に貧しい人々に悪影響を与えているこれらの壊滅的な災厄から力強く回復するためには、政治的な意思の向上をはかり、リーダーや民間セクター、市民社会他あらゆるステークホルダーの間で、実践的なガイダンスに基づき、経験や良い事例を共有することが不可欠である。

本会合は、国連加盟国において、水と災害に関するハイレベルな政治的意識向上を図り、行動を促進してきたこれまでの会合の機運を持続させながら、新型コロナウイルス感染症拡大によって得られた教訓を反映させる形で、水行動 10 年と気候変動下の災害リスク軽減のための優先課題と行動を連携させ、コロナ後の持続可能でレジリエントかつ気候変動に適応した社会の実現のための行動をさらに促進することに関する議論を集中的に行う。会合の成果は、直後に開催される国連 2023 会議や、2023 年 5 月の仙台防災枠組の実施に関する中間レビュー、2023 年 7 月のハイレベルポリティカルフォーラム、そして気候変動ならびに生物多様性に関する国連の条約締約国会議等、水、災害リスク軽減、気候変動に関する主要な会議にインプットされていく予定である。

2. 期待される成果

- 議長サマリー
- 国連 2023 年水会議、仙台防災枠組み中間レビュー会議、COP28 他主要な関連会議へのメッセージや提言

3. 主催・共催

オーストラリア、ハンガリー、インドネシア、日本、オランダ、韓国、スウェーデン、タジキスタン、水と災害に関するハイレベルパネル (HELP)、水と気候連合リーダーズ (WCL)、政策研究大学院大学 (GRIPS)

4. 開催日時・場所

2023 年 3 月 21 日 (火) 於：ニューヨーク国連本部トラスティーシップカウンスル

5. プログラム案

(1) 開会挨拶とセッションの紹介：ハン・スンス 水と災害に関するハイレベルパネル (HELP) 議長・元韓国国務総理・WCL メンバー

(2) ハイレベルパネルディスカッション(10:00-11:30)「水、災害リスク軽減に関する中間レビュー、気候変動プロセスの連携を目指して」

モデレーター：マーク・ハーバース オランダインフラ・水管理大臣・WCL メンバー

パネリスト：

- バスキ・ハディムルヨノ インドネシア公共事業・国民住宅大臣
- ハニ・スウェイレム エジプト水資源・灌漑大臣 (予定)
- 上川陽子 日本国総理特使・衆議院議員・元法務大臣
- ロビン・コロシモ 米国陸軍副次官補 (非軍事作業担当)
- バンバン・スサントノ ヌサンタラ新首都庁長官
- テオドロ・エストレア・モンリアル スペイン生態偏移・人口変化省水局長
- ターニャ・プリバセック オーストラリア環境・水担当大臣
- パブロ・ベレシアルチュア 世界水パートナーシップ(GWP)議長
- ウーチョン・ウム アジア開発銀行 (ADB) 事務総局長 (兼知識管理・持続的開発担当副総裁代理)
- パオラ・アルブリート 国連防災機関 (UNDRR) 所長

(3) 科学技術パネル(11:30-13:00)「水、災害リスク軽減、気候変動の連携のための科学技術の応用事例ショーケース」

モデレーター：グレチェン・カロンジ 四川大学災害危機管理学部長
小池俊雄 水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) センター長

● 基調講演

- アブ・アマニ UNESCO 水科学局長兼国際水文計画事務局長

● プレゼンテーション

- クラウディア・ヘレラ 中央アメリカ自然災害予防調整センター (CEPREDENAC)事務局長 (ホンジュラス)

- サミュエル・ジョセフ・ガマ マラウィ災害レジリエンス主任オフィサー
- 大西一史 熊本市長
- ブスタヌル・ファアデ・ミザン・ビスリ 神戸大学助教授・U-Inspire メンバー

● コメント

- ハン・スンス 水と災害に関するハイレベルパネル (HELP) 議長・元韓国国務総理・WCL メンバー (予定)
- 上川陽子 日本国総理特使・衆議院議員・元法務大臣 (予定)
- サロジ・ジャ 世界銀行グローバル水ディレクター (予定)

(4) 全体会合 (15:00-16:45)

● 開会挨拶

- ハン・スンス 水と災害に関するハイレベルパネル (HELP) 議長・元韓国国務総理・WCL メンバー
- チャバ・コロシ 第 77 回国連総会議長
- アントニオ・グテレス 国際連合事務総長
- ペッテリ・ターラス 世界気象機関 (WMO) 事務局長・WCL メンバー

● 挨拶

- ウィレム・アレクサンダー オランダ国王陛下

● 基調講義

- 日本国 天皇陛下

● 基調講演

- シロジッディン・ムフリッディン タジキスタン共和国外務大臣
- アーデル・ヤーノシュ ハンガリー元大統領・WCL メンバー
- ダニロ・ターク 元スロベニア大統領、水と平和に関する世界ハイレベルパネル議長

(5) 水、災害リスク管理、気候変動に関する特別セッション(16:45 - 17:45)

モデレーター：ステファン・ウーレンブルック 世界気象機関 (WMO) 水文・水・雪氷圏局長

● 水政策グループによる 92 の水大臣への調査結果のプレゼンテーション

● パネルディスカッション

- ハニ・スウェイレム エジプト水資源・灌漑大臣・WCL メンバー
- ハネル・ポッカ 教授・フィンランド元大臣・WCL メンバー
- マティアス・バーニンガー バイエル 広報・持続可能性責任者・WCL メンバー
- リンジー・プロジェクト 元世界水ユース議連議長・WCL メンバー

(6) 閉会(17:55-18:00)